

2008 年度 定例総会議事録

表記の総会が、2008年6月7日(土)17:30より筑波大学大学会館にて開催された。赤平昌文氏を議長に選出し、以下の事項が報告・承認された(委任状 91)。

I. 2007 年度事業報告(2007.4.1～2008.3.31)

1. 概 況

2007年度は、田栗正章会長、鎌倉稔成副会長をはじめとする15名の理事、ならびに岩崎学、三輪哲久監事の体制で活動した。

財務状況については、会費納入率は微増傾向にあるが、会員数減少などにより収入よりも支出が大きいため繰越金が減少傾向にある。継続的に未納率を減らす努力をするとともに、長期的な視野に立った計画を考える必要がある。

会員数は2008年3月31日現在、正会員577名、学生会員19名、賛助会員6社、機関・団体購読は53件である(昨年度は、正584、学24、賛5、機・団53)。

2. 総会の開催

総会を2007年5月24日(木)に東京工業大学(大岡山キャンパス)で開催した。

3. 評議員会

2007年5月24日(木)に定例評議員会を開催し、総会に付議する事項等について審議した。

4. 理事会

2007年4月21日(土)、6月12日(木)～6月19日(木)、9月8日(土)、2008年4月22日(火)～4月30日(水)、5月10日(土)、6月6日(金)の計6回開催し、学会の運営に関する事項について審議した。電子メールを用いた理事会を適宜開催することにより機動的に対処し、審議内容を要録として学会誌およびホームページに掲載した。

5. 機関誌編集

「応用統計学」Vol.36のNo.1, 2&3を発行した。Vol.36の掲載原稿は、特集1編、フォーラム1編、研究論文5編、覚え書1編、その他3編で、総計156頁(昨年212頁、一昨年193頁)である。

6. 応用統計学会論文賞の授与

「応用統計学」に掲載された論文から選考し、以下のように学会論文賞を授与した。

(a) 優秀論文賞

久保川達也、「線形混合モデルと小地域の推定」、Vol.35, No.3.

(b) 奨励論文賞

黒田健成、宮川雅巳、田中研太郎、「因果ダイアグラムにおける矢線への介入効果の定式化とその応用」、Vol.35, No.2.

7. 統計関連学会連合大会

統計関連学会連合大会を2007年9月6日(木)～9日(日)に神戸大学(経済・経営学部本館)(神戸市)で開催した(応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会の共催、日本分類学会の協賛)。本学会としてはこの連合大会をシンポジウムとした。

企画セッション(13セッション), 一般セッション(41セッション), コンペティション(17件), チュートリアルセミナー, 市民講演会が行われた。大会参加者は845名(内, 会員524名, 学生67名, 非会員254名)であった。また, チュートリアルセミナー(参加者377名)が行われた(昨年度は大会参加者が826名, チュートリアルセミナー参加者が231名)。

8. 年会

2007年度年会を2007年5月24日(木)に東京工業大学(大岡山キャンパス)で開催した。特別講演3件, 一般講演5件の発表があった。参加者は115名(正会員(含協賛学会員)69名, 学生会員38名, 非会員8名)であった(昨年度の参加者は90名)。

9. チュートリアルセミナー

2007年5月25日(金)に昭和女子大学で開催し, 永田靖氏(早稲田大学)に「多重比較法」について講演いただいた。参加者は192名(正会員(含協賛学会員)78名, 学生会員51名, 非会員63名)であった(昨年度の参加者は130名)。

10. 統計関連学会との協調について

以下の各委員会に当学会よりそれぞれの委員会の担当理事および特別任務を担当する学会員が出席した。

◎統計関連学会連合

理事会(2007年4月21日, 8月7日, 9月9日, 10月31日, 11月26日, 2008年2月9日, 4月19日)

◎統計関連学会連合大会

2007年度大会: 運営委員会(4回), 企画委員会(3回), 事務局(2回)

2008年度大会: 組織委員会(1回), プログラム委員会(2回)

Web委員会(適宜, メール会議)

◎横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)

定時総会・講演会・活動報告会(2007年4月)

各種分科会(適宜)

第2回横幹連合カンファレンス(2007年11月29日~30日)

事務局長総務担当者会議(2008年5月14日)

総会・講演会(2008年5月14日)

◎リスク研究ネットワーク

ワークショップ(2008年2月14日)

総会(2008年2月14日)

11. ホームページおよびメーリングリストの充実

ホームページを常に更新し, 学会員への情報公開を円滑にし, また, メーリングリストによる情報公開を行った。

12. 大内賞の推薦

大内賞に吉村功会員を推薦した。後日, 同会員の受賞が決定した。

13. その他

以下の会合と協調して事業を進めた。

- (a) 日本リモートセンシング学会との共同セッション「リモートセンシング技術の展開と統計数理」(2007年9月8日)を統計関連学会連合大会(9月6日~9日)の中で開催した。

(b) システム制御情報チュートリアル講座 2007「実システムを指向したモデリングと制御」
(2007年6月19日～20日)を協賛した。

(c) 計量心理学会国際大会(IMPS-2007) (2007年7月9日～13日)を協賛した。
その他の事業については Web にて公開していますので、そちらを参照下さい。

II. 2007 年度決算報告(2007.4.1～2008.3.31)

1. 収入の部

勘定科目	(単位 円)		
	決算額	予算額	差額
1. 会費収入	3,037,290	2,572,500	464,790
(1) 正会員	2,864,790	2,425,000	439,790
(2) 学生会員	52,500	47,500	5,000
(3) 賛助会員	120,000	100,000	20,000
2. 雑誌売上収入	291,600	222,600	69,000
(1) 購読料収入	285,600	222,600	63,000
(2) バックナンバー売上	6,000	0	6,000
3. 広告料	120,000	90,000	30,000
4. 別刷り・カラー印刷収入	61,643	50,000	11,643
5. 年会等関係収入	819,000	675,000	144,000
(1) 年会収入	291,000	270,000	21,000
(2) チュートリアル収入	528,000	405,000	123,000
6. 関連学会協調事業費	0	0	0
7. 雑収入(著作権料・利息など)	157,037	50,000	107,037
当期収入合計	4,486,570	3,660,100	826,470
前期繰越金	4,295,383	4,295,383	0
収入合計	8,781,953	7,955,483	826,470

会費収入に関する補足

2008年3月31日現在会員 596名(2008年3月末で退会予定の38名を含める)

内訳 正会員 577名

学生会員 19名

正会員収入内訳

2006年度まで 195,000円(24名) ※ 1999-2006年度1名, 2004-2006年度2名,
2005-2006年度4名, 2006年度17名

2007年度 1,475,000円(295名)

2008年度から 1,194,790円(233名) ※ 2009-2014年度前受金 30,000円を含める

学生収入内訳

2007年度 25,000円(10名)

2008年度から 10,000円(4名)

2006年度以前 17,500円(4名: 2005年-2006年度3名, 2006年度1名)★

総会資料では★の行の記載が抜けていました。お詫びして追加します。

会費納入率 90.79%(前年度に納入された1,162,500円を含める)

機関購読数 53件

2. 支出の部

(単位 円)

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 機関誌関係費	2,375,696	2,560,000	△ 184,304
(1)印刷費	1,907,790	2,000,000	△ 92,210
(2)校正費	150,000	150,000	0
(3)英文校正費	0	10,000	△ 10,000
(4)通信・発送費	317,906	400,000	△ 82,094
2. 年会等関係費	543,746	550,000	△ 6,254
(1)年会支出	289,282	300,000	△ 10,718
(2)チュートリアル支出	254,464	250,000	4,464
(3)共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	1,691,916	1,760,000	△ 68,084
(1)事務委託費	1,250,000	1,250,000	0
(2)消耗品費	171,672	150,000	21,672
(3)会議費	61,996	100,000	△ 38,004
(4)雑費	69,980	85,000	△ 15,020
(5)名簿作成費	0	0	0
(6)事務合理化費	11,550	50,000	△ 38,450
(7)選挙費	126,718	125,000	1,718
4. 役員旅費補助	43,500	300,000	△ 256,500
5. 関連学会協調事業費	204,249	180,000	24,249
(1)関連学会年会費	80,000	80,000	0
(2)連合大会	124,249	100,000	24,249
6. 学会賞	65,145	50,000	15,145
当期支出合計	4,924,252	5,400,000	△ 475,748
収支差額(次年度繰越金)	3,857,701	0	

※「応用統計学」Vol.35-3, 36-1, 36-2&3

2008 年度への繰越金の内訳

(単位 円)

項目	2007年3月31日現在	2008年3月31日現在
銀行預金	871,304	879,095
郵便貯金	257,655	2,331,604
定額貯金	2,000,000	0 ※
郵便振替	1,161,488	631,548
現金	4,936	15,454
合計	4,295,383	3,857,701

※平成 20 年で定額貯金が満期を迎えたため、元金及び利子を通常貯金へ入金


会計監査報告書


応用統計学会殿

応用統計学会会則に基づき、2007年4月1日より2008年3月31日までの会計経理を監査した結果、会計報告のとおり相違ないことを認めます。

2008年4月9日

監事

三輪 哲 

岩崎 学 

III. 2008 年度事業計画(2008.4.1～2009.3.31)

1. 機関誌の発行

「応用統計学」Vol.37 を発行する。

2. 応用統計学会論文賞の授与

「応用統計学」に掲載された論文の中から優秀な論文に学会賞を授与する。

3. 年会の開催

2008 年度年会を 2008 年 6 月 7 日(土)に筑波大学にて開催し、総会、および評議員会を行う。

4. チュートリアルセミナーの開催

2008 年 6 月 6 日(金)に筑波大学にて開催し、藤井良宜氏(宮崎大学)に「症例対照研究のデザインとその解析方法」について講演いただく。

5. 統計関連学会連合大会でのシンポジウムの開催

2008 年度統計関連学会連合大会を 2008 年 9 月 7 日(日)～10 日(水)に慶應義塾大学(矢上キャンパス)にて開催する。応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会が共催し、日本分類学会が協賛する。応用統計学会としては、これをシンポジウムとする。企画セッションとして、学会賞受賞者の記念講演を行うことを予定している。

6. 必要に応じてその他の研究集会を開催する。また、科研集会を支援する。

7. 統計関連学会をはじめ、関係学会との協調を促進する。

8. 会員増強に努める。

9. ホームページの充実をはかり、学会員への情報公開を円滑に行う。

10. その他

以下の会合と協調して事業を進めると共に、追加で依頼があれば適宜検討し、可能な限り協力する方向で協議する。

(a) 横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)の加盟を継続

第 2 回横幹コンファレンス(2008 年 12 月 4 日(木)～5 日(金)、筑波大学東京キャンパス)の開催

(b) リスク研究ネットワークの加盟を継続

(c) IASC 第 4 回世界大会・第 6 回アジア大会合同国際会議(IASC2008) (2008 年 12 月 5 日～8 日)の後援

(d) 市民講演会(2008 年 9 月 7 日)の共催

IV. 2008 年度予算(2008.4.1~2009.3.31)

1. 収入の部

勘 定 科 目	(単位 円)		
	2007 年度予算	2007 年度実績	2008 年度予算
1. 会費収入	2,572,500	3,037,290	2,522,500
(1) 正会員	2,425,000	2,864,790	2,365,000
(2) 学生会員	47,500	52,500	37,500
(3) 賛助会員	100,000	120,000	120,000
2. 雑誌売上収入	222,600	291,600	214,200
(1) 購読料収入	222,600	285,600	214,200
(2) バックナンバー売上	0	6,000	0
3. 広告料	90,000	120,000	90,000
4. 別刷り・カラー印刷収入	50,000	61,643	50,000
5. 年会等関係収入	675,000	819,000	675,000
(1) 年会収入	270,000	291,000	270,000
(2) チュートリアル収入	405,000	528,000	405,000
6. 雑収入(著作権料・利息など)	50,000	157,037	50,000
当期収入合計	3,660,100	4,486,570	3,601,700
前期繰越金	4,295,383	4,295,383	3,857,701
収入合計	7,955,483	8,781,953	7,459,401

個人会員の会費納入率を 87.5%として

正 会 員……473 名 (541 名 × 0.875) × 5,000 円 = 2,365,000 円

学生会員……15 名 (17 名 × 0.875) × 2,500 円 = 37,500 円

賛助会員……6 件 × 20,000 円 = 120,000 円

購読料収入……51 件 × 6,000 円 × 0.7 (マテマティカ手数料) = 214,200 円

2. 支出の部

(単位 円)

勘定科目	2007年度予算	2007年度実績	2008年度予算
1. 機関誌関係費	2,560,000	2,375,696	2,361,760
(1)印刷費	2,000,000	1,907,790	1,800,000
(2)校正費	150,000	150,000	150,000
(3)英文校正費	10,000	0	0
(4)通信・発送費	400,000	317,906	400,000
(5)PDF化費	0	0	11,760
2. 年会等関係費	550,000	543,746	550,000
(1)年会支出	300,000	289,282	300,000
(2)チュートリアル支出	250,000	254,464	250,000
(3)共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	1,760,000	1,691,916	1,603,740
(1)事務委託費	1,250,000	1,250,000	1,160,000
(2)消耗品費	150,000	171,672	200,000
(3)会議費	100,000	61,996	100,000
(4)雑費	85,000	69,980	85,000
(5)名簿作成費	0	0	0
(6)事務合理化費	50,000	11,550	50,000
(7)選挙費	125,000	126,718	8,740
4. 役員旅費補助	300,000	43,500	300,000
5. 関連学会協調事業費	180,000	204,249	180,000
(1)関連学会年会費	80,000	80,000	80,000
(2)連合大会	100,000	124,249	100,000
6. 学会賞	50,000	65,145	50,000
小計	5,400,000	4,924,252	5,045,500
7. 予備費	2,555,483	3,857,701	2,413,901
当期支出合計	7,955,483	8,781,953	7,459,401

- 1. 機関誌関係費 印刷費…37巻1-3号の1号につき60万円として算出
PDF化費…33巻14論文のPDF化の費用(税込)
- 3. 管理費 事務委託費…2008年度より価格改訂
選挙費…投票用紙受取人払込料
- 5. 関連学会協調事業費 関連学会年会費…横断型基幹科学技術研究団体連合年会費5万円,
統計関連学会連合年会費3万円を含む

V. 会長・副会長・評議員選挙結果報告

2008-2009 年度会長、副会長、評議員選挙の結果について、以下の方々が当選したとの報告があった。

会長： 鎌倉稔成

副会長：富澤貞男

評議員(23名、カッコ内は地域代表者の地域名)

水田正弘(北日本)、 三輪哲久(北日本)、
岩崎 学(南関東)、 椿 広計(南関東)、
狩野 裕(東海近畿)、 神保雅一(東海近畿)、
栗原考次(西日本)、 小西貞則(西日本)、
赤平昌文、大瀧 慈、柏木宣久、岸野洋久、栗木 哲、
篠崎信雄、瀬尾 隆、丹後俊郎、永田 靖、林 篤裕、
藤井良宜、前園宜彦、牧野都治、南美穂子、渡辺美智子

VI. 新理事承認

2008-2009 年度理事を以下の通り承認した。

会長： 鎌倉稔成 (中央大学)
副会長： 富澤貞男 (東京理科大学)
庶務(文書)： 酒折文武 (中央大学)
庶務(情報・広報)： 山本義郎 (東海大学)
庶務(組織)： 藤井良宜 (宮崎大学)
会計： 笛田 薫 (岡山大学)
編集： 岸野洋久 (東京大学)
永田 靖 (早稲田大学)
企画： 渡辺美智子(東洋大学)
瀬尾 隆 (東京理科大学)
無任所(横幹連合対応)：椿 広計 (統計数理研究所)
原 尚幸 (東京大学)
無任所： 清水邦夫 (慶応義塾大学)
広津千尋 (明星大学)
田栗正章 (大学入試センター)

VII. 新監事承認

2008-2009 年度監事を以下の通り承認した。

監事： 赤平昌文 (筑波大学)
神保雅一 (名古屋大学)